

コロナ禍からのリスタートの思いを込めて、市制施行35周年記念キャッチフレーズとシンボルマークを選んでください

大阪狭山市は、10月1日に迎える市制施行35年の節目を、ウィズコロナ時代に適応した、あらゆる活動のリスタートの年としたいと考えています。

この取り組みを市民の皆さんと共有するため、「市制施行35周年とコロナ禍からのリスタート」を象徴するキャッチフレーズとシンボルマークを作成することとしました。そこで、「連携協力に関する協定」を締結している帝塚山学院大学の学生の皆さんの協力のもと、キャッチフレーズとシンボルマークそれぞれ3案を作成しました。

この3案の中から、市民投票により最終案を決定します。多くの皆さんの投票をお待ちしています。投票した人の中から抽選で10人に狭山池ダムカレー・レトルトをプレゼントします。

キャッチフレーズ候補作品

A-1 これからも、私たちらしく。大阪狭山市	制作意図 ウィズコロナの厳しい状況の中ですが、大阪狭山市のみなで様々な活動を大阪狭山市らしく、新たに挑戦していった欲しいという想いを込めた。
A-2 つながりつなく、すえひろがり	制作意図 人と人との繋がりを大切に未来へという思いと、その思いが繋がることで今後のさらなる繁栄を願うというメッセージを込めた。
A-3 桜も笑顔も満開な街	制作意図 大阪狭山市が誇る自然が織りなす四季折々の内の「新たな始まり」を意味する春を象徴する桜と市民の笑顔が満開であるといった前向きな意味を込めた。

シンボルマーク候補作品

B-1  制作意図 大阪狭山市の象徴的な桜をイメージし、活動をリスタートしていくということで桜の形をさわやかでスタイリッシュな形に表現した。	B-2  制作意図 大阪狭山市を彩る桜をモチーフに、人と人の繋がりをイメージ。また、さやま→3山ということで桜の花びらに線を引き、漢字の山を3つ表現した。	B-3  制作意図 大阪狭山市の大きな魅力である「桜」をモチーフに、桜の花びらのように輝かしい未来に進んでいける市になると希望を込めて桜の形を表現した。
---	--	---

投票要領

■投票方法 【はがきで投票する場合】 コロナ禍からのリスタートの機運を高め、大阪狭山市市制施行35周年にふさわしいと思うキャッチフレーズおよびシンボルマークの番号、郵便番号・住所・名前・電話番号を書いて、〒589-8501大阪狭山市役所広報プロモーショングループ・市制施行35周年係 ※キャッチフレーズまたはシンボルマークいずれかのみでの投票も可 【市申込フォームから投票する場合】 市ホームページから ※右のQRコードから参照できます

■投票期限 14日(月)必着

■投票できる人 市内に居住・通勤・通学する人



抽選でダムカレーが当たる

